

公 表 日

平成 3 0 年 8 月 2 7 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	平成 3 0 年度九州管内橋梁設計品質向上検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の 氏名並びにその 所属する部局の 名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 九州技術事務所長 島本 卓三 福岡県久留米市高野 1 丁目 3 - 1
契約年月日	平成 3 0 年 8 月 2 7 日
契約業者名	(一社) 九州建設技術管理協会
契約業者の住所	福岡県福岡市博多区博多駅前 1 - 1 9 - 3
契 約 金 額	2 7, 5 4 0, 0 0 0 円 (税込み)
予 定 価 格	2 8, 2 2 0, 4 0 0 円 (税込み)
随意契約による こととした理由	別紙のとおり (※随意契約理由書を添付すること。)
業 務 場 所	九州地方整備局管内
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間 (自)	平成 3 0 年 8 月 2 8 日
履行期間 (至)	平成 3 1 年 3 月 2 2 日
備考	入札情報サービス (P P I) (http://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契 約過程に関する情報を閲覧可能である。

契約理由書

1. 業務件名 平成30年度九州管内橋梁設計品質向上検討業務
2. 履行場所 九州地方整備局管内
3. 契約の相手方 住 所：福岡県福岡市博多区博多駅前 1-19-3
会社名：一般社団法人 九州建設技術管理協会
電 話：(092)471-0189
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
 予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、平成29年 道路橋示方書の条文等の適用間違い、設計計算や設計図面作成に必要な値の入力ミス、構造細目の適用不備等的人為的ミスなどを防止し、当初設計の品質を確保するために、別途実施している橋梁詳細設計に対して、設計業務等共通仕様書に示す照査を実施するものである。

2) 業務の内容

本業務は、構造計算の前提事項の妥当性の照査及び構造計算の整合性の照査を行い、橋梁詳細設計業務発注事務所に報告するものである。

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち1者を技術提案書の提出者として選定し、1者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断された。

特に、「配置予定技術者の資格及び実績」は優れた評価であり、かつ「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における実施フローは妥当性が高く、工夫が図られていること、及び特定テーマの「構造計算の整合性に着目した照査を行うにあたっての留意点」に対する技術提案については、与条件との整合性が高く、構造計算の整合性の照査を行う上で留意すべき事項を的確に把握しており、提案内容を裏付ける実績を有しているなど、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

九州技術事務所 防災・技術課長